

災害への備え

中小企業支援

合葬墓  
職員採用

ふるさと納税寄附  
空き家

仲人会  
多面的農業  
フラッシュ

市民のひろば

みんなの健康

お知らせ

まる博



## ダム湖名が「かぬま梶又湖」に —南摩ダム湖名が決定しました—

ダム湖の名称については、全国から303通の応募があり、南摩ダム水源地域ビジョン策定委員会が選定し決定しました。

「梶又(かじまた)」は貯水池内にあった小字名であり、この地名を後世に伝えたいという思い、「かぬま」は、鹿沼市の名を全国的に広め、より親しみやすい湖となるようにとの思いが込められています。

また、この湖名決定を記念して4月11日には「ウォーキング&ダム登山」が行われました。スノーピーク鹿沼キャンプフィールド&スパを発着点に、普段一般開放されていないダム施設などを含む5.5キロのルートに150人を超える参加者が歩き、今しか見ることのできない光景を楽しみました。

## 2万本のつつじが赤やピンクに染まる —あわの城山公園—

4月18日～19日、「あわの城山つつじまつり」が開催されました。今回は初めての試みとして、初日にオープンカフェが開かれました。粟野地域から9店のカフェなどが参加、ステージイベントでは、宇都宮ブレックスのアリーナDJも務めるDJ NECOさんや、シンガーソングライターのサトウヒロコさんが登場し会場を盛り上げました。2日目は粟野商工会青年部による毎年恒例の宝さがしが行われ、多くの子どもたちが公園中に隠された小判を一生懸命探していました。



## 春の丘を「昇り藤」が彩る —ルピナス祭り—

ルピナスは、藤の花を逆さまにしたように空に向かって咲く様から「ノボリフジ」と呼ばれ、ピンクやオレンジ、白など色のバリエーションがとても豊富な花です。

そのルピナスが約3万本も咲き誇る「ルピナス祭り」が4月6日から市花木センターで開催されました。会場は、ルピナスの甘い香りが漂い、訪れた観光客は、思い思いに色とりどりのルピナスと写真を撮っていました。



## 誕生!『いちごっこ防災クラブ』 —“自分の命は自分で守る”力を育むため—

子どものころから「自分の命は自分で守る」という自助力を身につけるとともに、『鹿沼市防災のシンボル』的存在として地域防災をリードすることを目的に防災活動を行う、『いちごっこ防災クラブ』の結成式が、4月25日に行われました。

小学4年生～中学1年生、14人のメンバーでスタートし、仲間と助け合いながら活動していきます。皆さん応援よろしくお祈りします!

